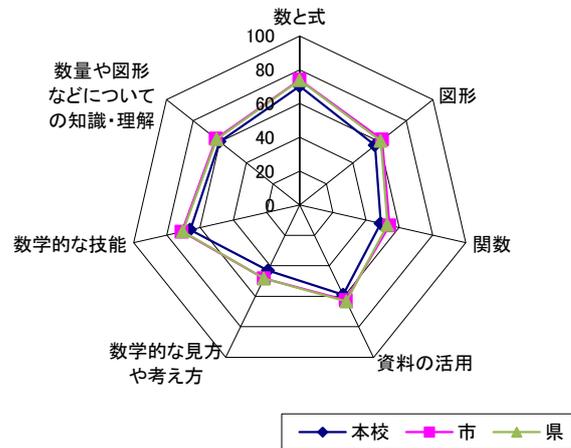


# 宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【数学】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分                | 本年度  |      |      |
|-----|-------------------|------|------|------|
|     |                   | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 数と式               | 70.3 | 74.1 | 73.8 |
|     | 図形                | 56.6 | 62.0 | 60.9 |
|     | 関数                | 48.8 | 54.1 | 52.9 |
|     | 資料の活用             | 59.0 | 62.5 | 63.4 |
| 観点  | 数学的な見方・考え方        | 43.0 | 48.2 | 48.3 |
|     | 数学的な技能            | 66.0 | 71.0 | 70.4 |
|     | 数量や図形などについての知識・理解 | 60.1 | 62.9 | 62.3 |



## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況  | 今後の指導の重点   |
|-------|---|--|
| 数と式   | ○基本的な計算は、市・県全体と同じぐらいできている。<br>●四則混合の計算ができていない。                          | ・授業の中で、繰り返し計算問題を解かせる。<br>・複雑な計算では、論理的に順序立てて計算の仕方を説明していく。                 |
| 図形    | ○説明が正しいか正しくないか問う問題では、正答率が市・県平均を上回っている。<br>●作図や見取り図をかく問題の正答率が低い。         | ・作図に関しては、コンパスをどのようなときに使うかなど、丁寧に説明する。<br>・見取り図など図形の問題に関しては、デジタル教材を使用していく。 |
| 関数    | ○比例・反比例の知識・理解の問題に関しては、正答率は市・県平均近くまで達している。<br>●技能・考え方の問題に関しては、市・県平均より低い。 | ・技能に関しては、繰り返し問題を解かせる。<br>・考え方に関しては、実生活に近い問題を活用し、関心・意欲を高める。               |
| 資料の活用 | ●度数分布表とヒストグラムの関係が理解できていない。  | ・生徒たちに実際にまとめさせたり、発表させたりすることで、一つ一つの理解を深めさせる。                              |
|       |   |  |